

古城佳子教授のご退任にあたって

国際政治経済学部 長 内 山 義 英

古城佳子先生のご定年に伴うご退職に際し、学部長として、本学でのお勤めに対して、改めて御礼申し上げます。

先生は 2020 年に本学部国際政治学科に教授として就任されました。2020 年は新型コロナウイルスの影響が世界中に及びだし、本学でもオンラインでの教育を余儀なくされた始まりの年でもありました。こうした状況のため、本学部に就任されたばかりの古城先生にも直接ご挨拶申し上げる機会がなかなかできませんでした。

古城先生の専門は国際関係論、特に国際政治経済論ということで、私のつたない理解では、国家間の経済的相互依存が深化していくことによって、グローバル 이슈がどのような影響を受けるのか、また国際社会の制度や国家の対外経済政策はどのようにあるべきか、に関心を持たれているように受け止めております。こうした先生の関心領域は、国際経済を専門とする私にとっても重複する部分があるように認識しており、もっと広い視野を持つべきと暗黙の裡に論されているように感じております。

古城先生には 2023 年度まで本学部の国際政治経済学会の会長を務めて頂き、長い歴史がある国際政治経済学会の在り方についても、大所高所からご意見を頂きました。古城先生は、どちらかというといつも控えめにされていらっしゃる印象がありましたが、ここぞというときにはきちんと発言して下さり、まさに学部の良心と言えるような存在であったように思っております。

さらに、古城先生は本学部の中ではとても人望がある方だな、と私自身は感じております。私が学部長として仕事をいろいろな先生方をお願いせざるを得

ないようなときに、「古城先生と一緒になら、やります」との回答を何度か頂きました。これまでの日本の国際政治学会でのお働きによるところもあるのですが、学部内でも同僚からこのように信頼されていらっしゃることを知り、改めて先生の大きさを感じずにはられません。

これまで古城先生と同じ学部で仕事ができたと心より感謝申し上げるとともに、学部を離れることにはなりますが、先生のこれからの益々のご活躍を願ってやみません。本当にありがとうございました。